

企業活動と SDGs

~YU empowering
with SDGs~

Ver. 5.1

RICOH
imagine. change.

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

リコージャパン株式会社はSDGsの普及促進に協力しています

2021年6月21日

リコージャパン株式会社

山形支社

地域創生推進グループ

佐藤 亮敏

■ SDGsの背景を理解し直す

- ・MDGsは失敗したのか、MDGsから見てきた課題
- ・資本主義経済における「格差」
- ・経済格差と社会問題

■ SDGsの本質を知るために理解すべきこととローカルSDGsの意義

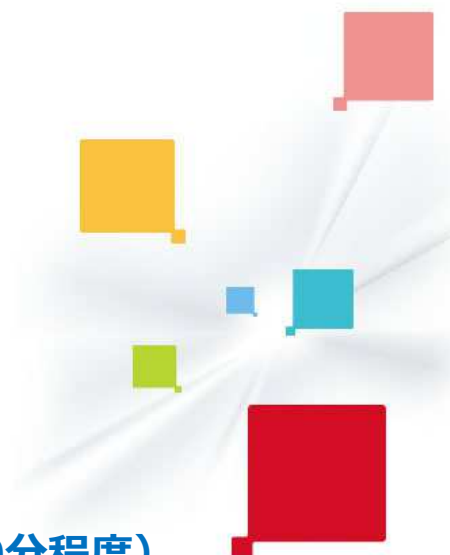
- ・大事な考え方 「アウトサイド・イン」、「バックキャスト思考」
- ・SDGsの特徴 「連鎖」、「トレードオフ」
- ・持続可能な社会に必要なこと
- ・行動の10年
- ・地球規模で考え、足元で行動する

■ 企業活動の「価値」を再定義する時代

- ・企業が取り組むべき真のCSRとは何か
- ・企業活動の自己評価の基準を考える
- ・「よそ者」と「若者」が社会を変え、消費者が企業を変える

■ 資料：リコー日本の社内外での取り組み事例

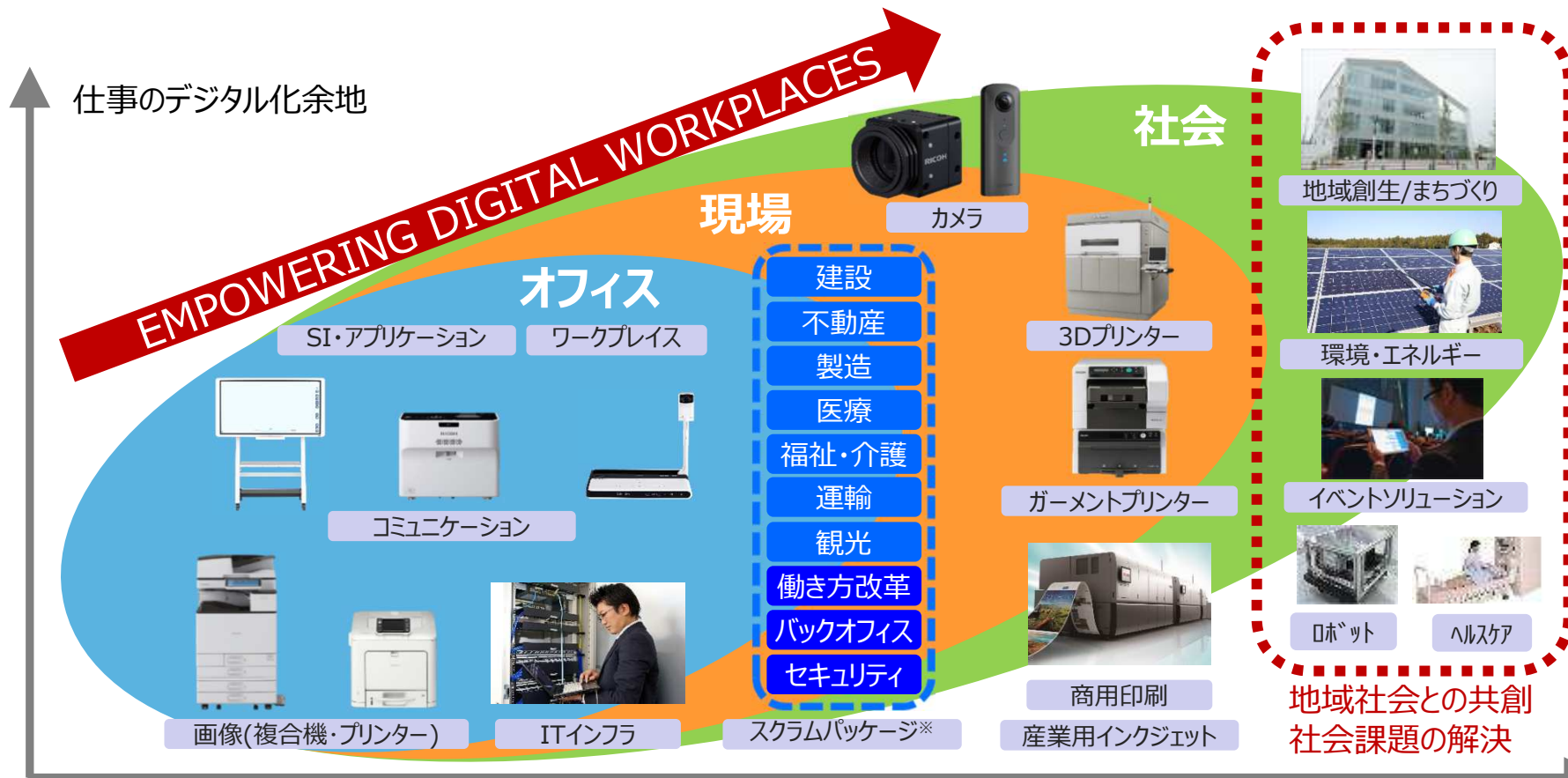
※山形事業所と中継にてリモートOffice見学（10分程度）



■ 自社紹介

RICOH
imagine. change. 3

リコージャパン株式会社 本社：東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
売上高： 6,500億円（2019年3月期）
従業員数： 18,520名 支社数： 48支社 拠点数： 354拠点
山形支社： 山形事業所 山形市松波1-14-14 ほか県内4拠点 従業員数 130名



※スクラムパッケージ：各業種、業務の課題に対するソリューションをパッケージ化したもの

価値提供領域の広がり

私たちリコージャパンは、世界200 の国と地域で事業を展開するリコーグループにおける日本の統括会社として、**「SDGsに貢献しない事業は淘汰される」という認識のもと、事業を通じた社会課題の解決に貢献することを目指しています。**

なぜならSDGsは、リコーグループの創業者・市村清が唱えた「三愛精神」の理念と根底を同じくするものであり、その意志を実現していくことが、**私たちの使命**だからです。

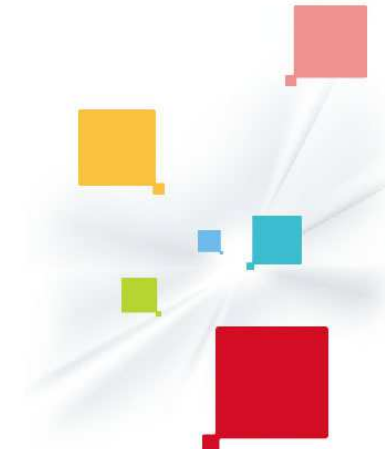
私たちの事業がどのように社会課題の解決につながるのか考え、社会に貢献することを誇りと思えるような、そんな会社でありたいと考えています。



リコージャパン株式会社
代表取締役 社長執行役員 CEO
坂主 智弘



SDGsの背景を理解し直す



説明省略します

SDGsのおさらい 持続可能な開発目標って？

RICOH
imagine. change.

6

2015年に国連持続可能サミットで、193の加盟国が全会一致で合意採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に含まれる「2030年までの世界の共通目標」で17のゴール（目標）と169のターゲットにより構成

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**



2030アジェンダ

- 1章 宣言（前文）
- 2章 17の目標（SDGs）
- 3章 実施手段（パートナーシップ）
- 4章 レビューとフォローアップ

2030年までに

宣言

- ・あらゆる貧困と飢餓に終止符を打つ
- ・国内的・国際的な不平等と戦う
- ・平和で、公正かつ包摂的な社会をうち立てる
- ・人権を保護しジェンダー平等と女性・女児の能力強化を進める
- ・地球と天然資源の永続的な保護を確保する
- ・働きがいのある人間らしい仕事のための条件を作り出す

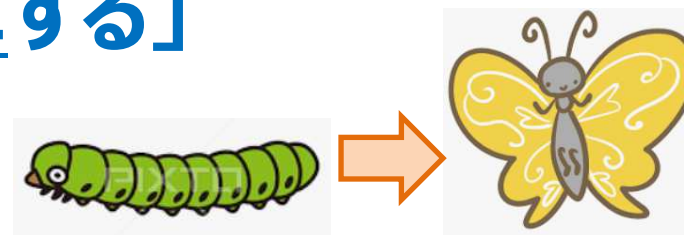
Leave no one behind

「誰ひとり取り残さない」

Transform our world

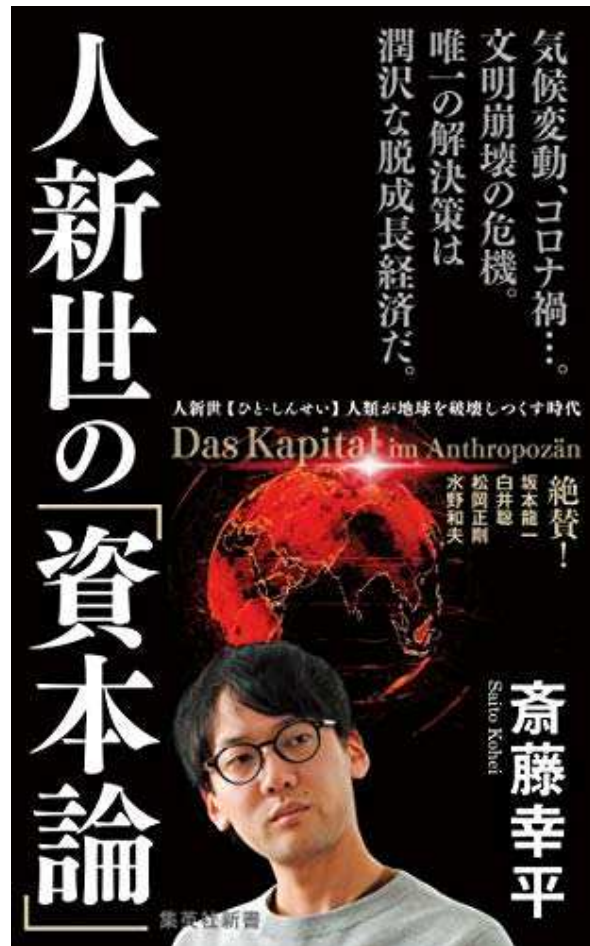
「我々の世界を変革する」

Changeとの違い



政府や**民間セクター**、**市民社会**、国連機関、その他の主体及び
動員可能なあらゆる資源を動員して全ての目標とターゲットの実
施のために地球規模レベルでの集中的な取組を促進する。

SDGsは「大衆のアヘン」である の意味するところ



「人新世の資本論」 斎藤幸平氏

SDGsは一見すると非常にポジティブなものとして捉えがちですが、それに対して、私は警鐘を鳴らす意味で「SDGsは大衆のアヘン」と言っています。その意図は、SDGsが今のような間違った使われ方をすることで、求められている社会の大転換の必要性が見えなくなってしまうことへの危機感です。

SDGsの17あるゴールの内のいくつかを恣意的に取り出し、企業がその推進をPRすれば、消費者もマイボトルやマイバッグを持つようになって自己満足感を得られます。しかし、それでは問題は根本的には何も解決せず、むしろ危機は深まるばかりなのです。

- ・無限の経済成長を求める資本主義にブレーキを
- ・脱成長コミュニズムの社会へ

SDGsは「世界規模のうさんくさいもの」である の意味するところ



「SDGsの正体」 村井哲之氏

人は誰でも現状になんらかの不安や不満を抱いており、それを克服した結果得られるであろう、満足感や納得感や安堵感を渴望して生きています。だから人は、「未来を明るくしてくれるモノ・コト」からの誘惑に弱いのです。「SDGs」はまさにこの類のもの、「壮大なきれいなごと」「世界規模のうさんくさいもの」であると私は考えています。

私はね、「SDGsをやってます」という看板を立てただけで、中身のない事を派手に広告している企業に無責任な「環境ビジネスに取り組んでいるふり企業」を重ねて見てしまうんだよ。

日本企業の箱庭的、閉鎖的姿勢はSDGsとの相性が悪く世界から取り残されてゆく。

両者の主張で共感するところ

SDGsのバッチを付けて、SDGsのロゴを掲載して、満足してる場合ではない！

**2030年まで「行動の10年」
企業はどのようにSDGsに取り組むべきか
～その課題とポイント～**

※内容には多分に私見を含んでおります。

MDGsは失敗したのか、MDGsから見てきた課題

2000年、21世紀の国際社会の目標として作られたのがミレニアム開発目標



	極度の貧困と飢餓の撲滅		妊産婦の健康状態の改善
	普遍的な初等教育の達成		HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
	ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上		環境の持続可能性の確保
	幼児死亡率の引き下げ		開発のためのグローバルパートナーシップの構築

SDGsとMDGsの比較

	SDGs	MDGs
目標数	17	8
ターゲット	169	21
指標	232	60
対象	途上国と先進国	途上国
目標値設定	世界全体の達成目標を考慮し、国・地域レベルで設定を推奨	国・地域ごとの状況や多様性は勘案されず画一的に設定
策定プロセス	加盟各国の交渉によるボトムアップ	国連の専門家主導のトップダウン

- 達成を求められたのは開発途上国であり、**先進国が必ずしも「自分事」として捉えていなかった**のではないかとする疑問や、途上国からの不信感が残った。
- グローバル化が進むなか、貿易や金融、環境、移民、災害、エネルギー、テクノロジーといった分野が、**途上国の人々の暮らしに大きな負の影響を与えているにもかかわらず、仕組みやルール作りは先進国が主導し、途上国の考えや意見が反映されにくかった。**

経済活動において、グローバル・サウスに負担を押し付けていた事への問題意識



SDGs 17のゴール

MDGsからの継承 発展途上国



1 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



2 飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



4 質の高い教育をみんなに

すべての人に包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



6 安全な水とトイレを世界中に

全ての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

先進国 経済・社会問題



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



8 働きがいも経済成長も

すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

*ディーセント・ワーク：働きがいのある人間らしい仕事



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る

*レジリエント：回復力に富む、弾力のある

*イノベーション：技術革新、新機軸



10 人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の不平等を是正する



11 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする



12 つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

地球全体 環境問題



13 気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



14 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



15 陸の豊かさを守ろう

陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



16 平和と公平をすべての人に

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



17 パートナリシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

資本主義経済における「格差」

RICOH
imagine. change.

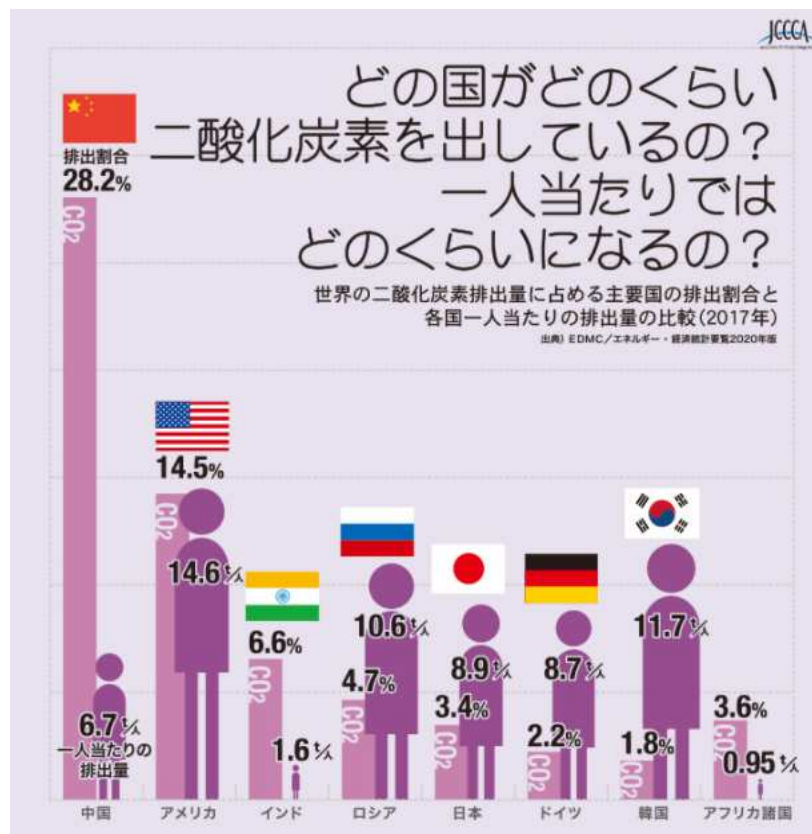
出展: 全国地球温暖化防止活動推進センター／WWF

13

■ 国別CO2排出量の比較

日本人一人当たりの
CO2排出量はアフリカ
諸国の人の

約
11倍



日本は、二酸化炭素排出量が世界5位。

- 排出量の上位5カ国だけで、世界の二酸化炭素排出量の60%を占めている。
- 世界で上位10%の富裕層が、地球全体の二酸化炭素の52%を排出している。
- 下から50%の人々は全体の10%しか二酸化炭素を排出していない。
- 電力使用ができない人は地球上に8億人いるが、彼らに電力を供給しても二酸化炭素の排出量は 1%増えるだけという試算もある。

資本主義経済における「格差」

RICOH
imagine. change.

出展: グローバル・フットプリント・ネットワーク/WWF

14

■ 社会生活で消費する資源量

(エコロジカル・フットプリント)

世界中の人が
日本人と同じ暮らしを
すると

地球

2.8個分

の資源が必要になる。

アメリカ 5.0 

日本 2.8 

中国 2.2 

インド 0.7 

世界 1.7 

2 気候を
ゼロに



家畜がエサとして消費する穀物を世界中
で分け合うと食べられない人は居なくなる

(ウォーター・フットプリント)



牛肉1kg

=



お風呂100杯分の水





綿花畑
世界の耕地の
2.5%
主要生産国
インド
カザフスタン
ウイグル自治区

- ・使用される農薬 : 全世界の農薬の**10%**
- ・使用される殺虫剤 : 全世界の**1/4**
- ・食品ではないため、大量の**枯葉剤**が使用され深刻な**健康問題**に
- ・劣悪な環境での**低賃金**、**児童労働**



日本は綿花の**90%**を輸入、その**95%**が衣類



日本の衣類廃棄量
年間約**100万トン**
枚数に換算すると、なんと**33億着**。
(うち、**14億着が未使用品**)
廃棄衣類の半分以上は**焼却処分**

大量生産・大量消費の
経済の陰で起こってい
る不都合へ救済が必要



流通・小売・税金	1,050円
原材料	612円
卸業者・輸送	433円

2,200円の
ジーンズ



縫製工場 (バングラデシュ)	116円
----------------	------

うち **90円** = 管理者給料、不動産、労働者賃金、安全管理、諸経費



最も貧しい弱い人の犠牲で
成り立つ経済。公平な取引
ルールと、問題の当事者であ
る企業の取り組みが必要

2013年、**ラナプラザビル崩壊事故**で、
従業員1200名以上が犠牲に・・
とまでは5階建て商業用ビルとして建築され
ていたが、3階分を違法に建て増していた

低
賃金

賃金
14セント (約14円)
(事故当時)

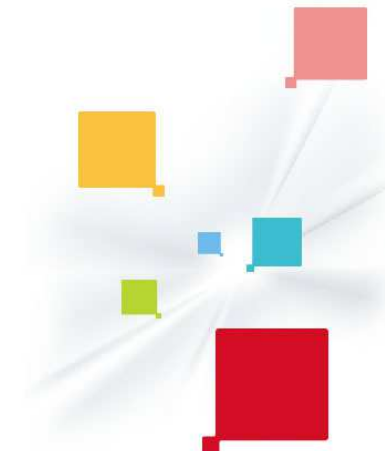
労働
環境

- 1日10～14時間労働
- 休みは月1日
- 賃金の支払い遅れは日常的





SDGsの本質を知るために理解すべきこと とローカルSDGsの意義





大事な考え方 その①

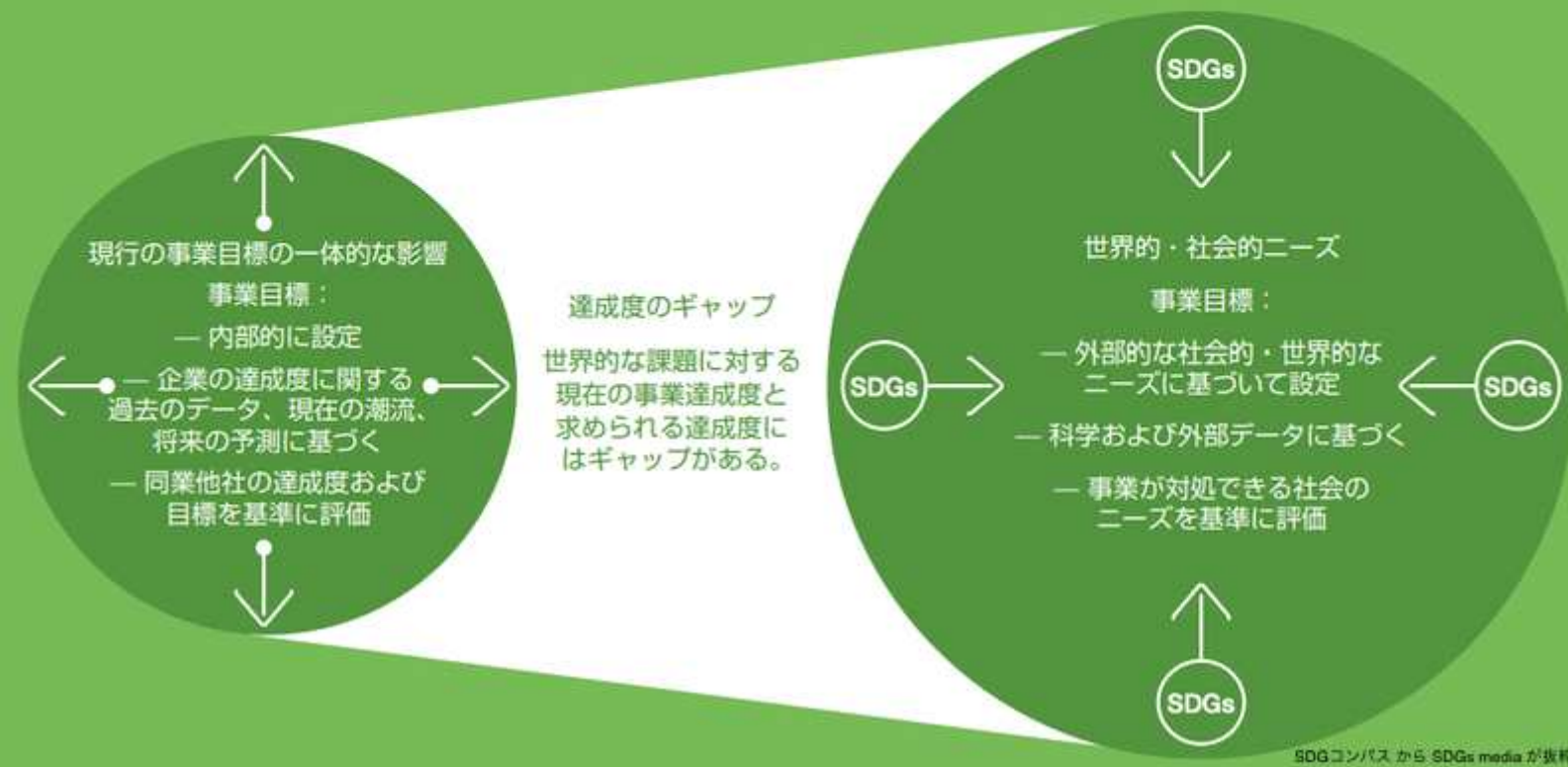
インサイド・アウト・アプローチ

目標設定に対し、内部中心的なアプローチを取る今日的なあり方では、世界的な課題に十分対処することができない。

アウトサイド・イン・アプローチ

世界的な視点から、何が必要かについて外部から検討し、それに基づいて目標を設定することにより、企業は現状の達成度と求められる達成度のギャップを埋めていく。

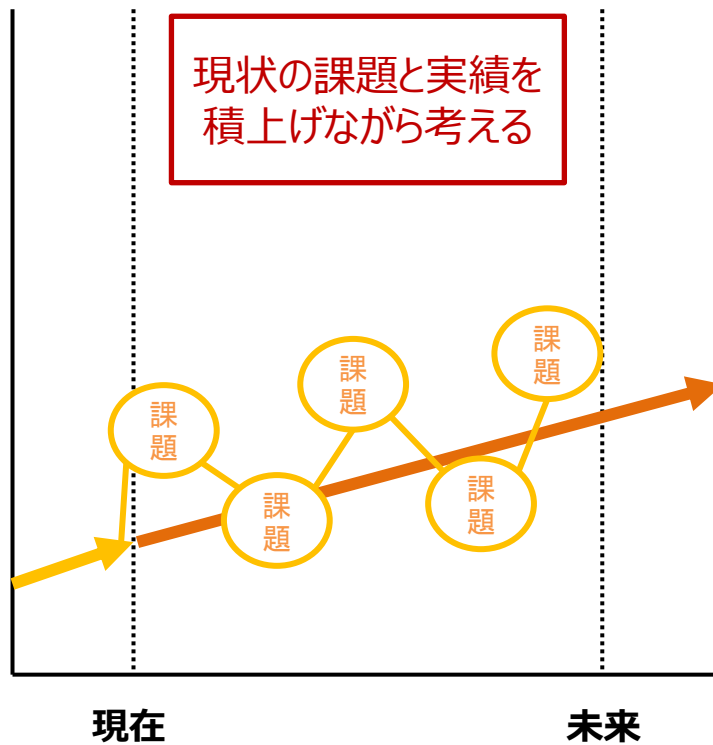
SDGsは、国際的に望ましい到達点に関しての前例のない政治的合意である。





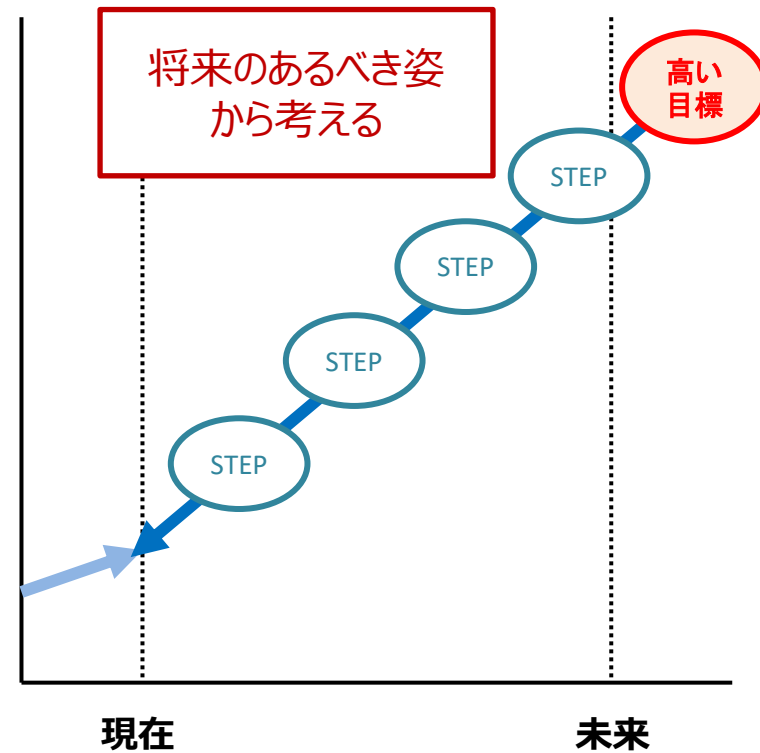
大事な考え方 その②

フォアキャスト思考



例：2022年度第〇次中期計画
※イノベーションは起きにくい

バックキャスト思考



例：2050年ゼロカーボンの達成
※社会変革や構造改革を誘発

SDGsの特徴 ゴールの『連鎖』



SDGsの特徴 ゴールの『トレードオフ』

メガソーラー（太陽光発電）の開発



・クリーンエネルギーの増加
・地球温暖化対策、脱炭素への貢献



・大規模な森林伐採、環境影響
・農村部の自然災害への弱体化

新たな発想

- ・休耕田、耕作放棄地の活用
- ・ソーラーシェアリング
- ・ソーラー下でのキノコ栽培

食品の個包装・梱包材



・食品の劣化、湿気防止、衛生対策
・保存性の向上、食品ロスの発生防止

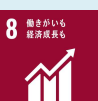


・プラスチックごみの増加・海ごみ問題
・環境に優しい生産と消費に逆行

新たな発想

- ・生分解性プラスチック
- ・発泡PLA等新素材
- ・ゼロ・ウェイスト市場
- ・蜜ロウを使ったラップ

農業生産性の向上（F1種、除草剤等）



・均質で高品質（売れる農産物）
・除草など農作業負担の軽減



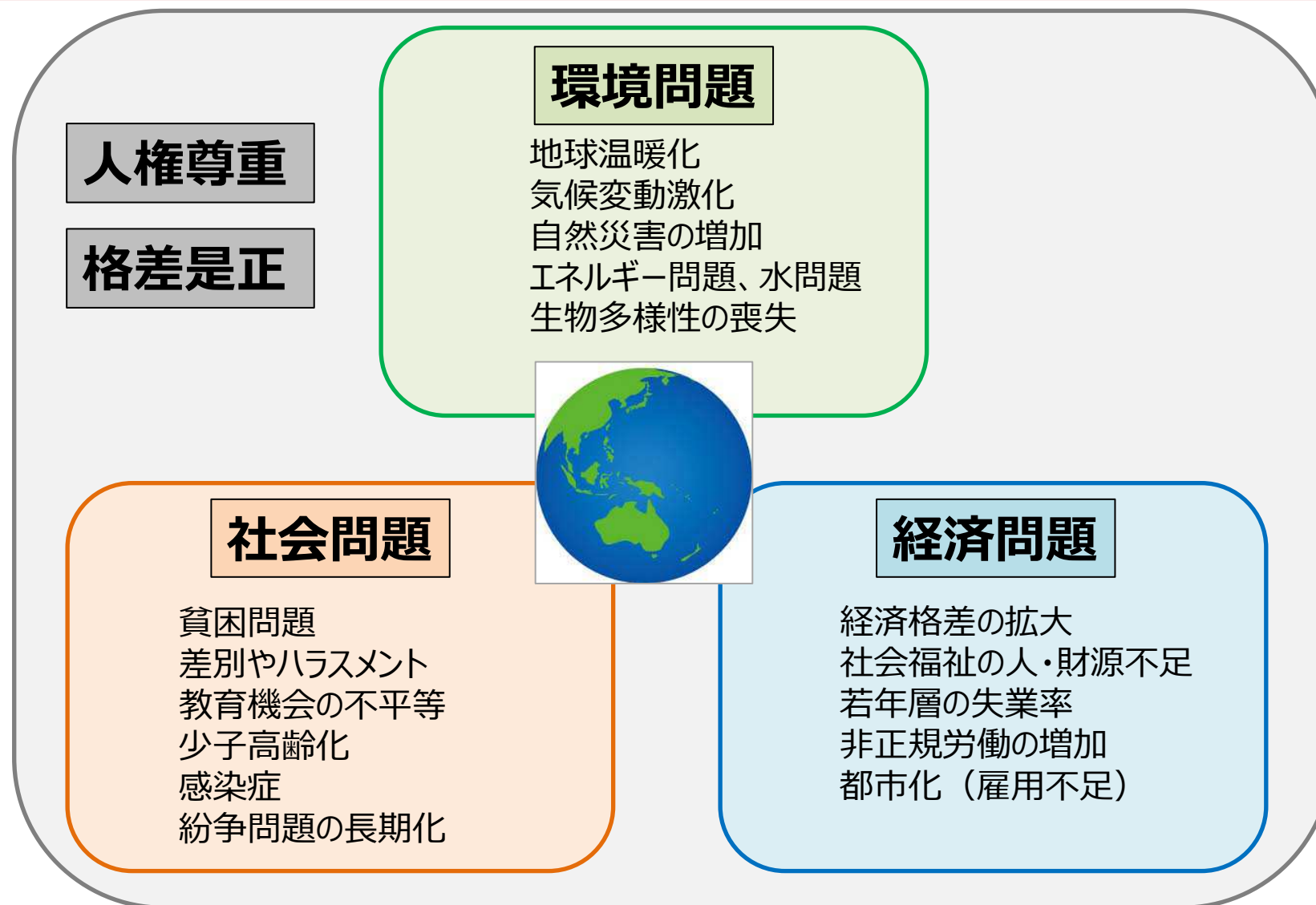
・農薬や遺伝子組替など食の安全
・規格外品の廃棄・食品ロス

新たな発想

- ・農業のICT・自動化
- ・生産者のストーリーを販売
- ・固定種の加工品
- ・廃棄農産物の加工品

「誰ひとり取り残さない」ための解決方法は？

利害の衝突を知恵と新しい発想、技術で解決しなければならない



人権を尊重し、「環境」・「社会」・「経済」のバランスが取れた発展

SDGsの取り組みはどのくらい進んでいるのか

持続可能な開発目標報告書2020 (国連広報センター)



1 貧困をなくそう
1日1.9ドル以下で暮らす絶対的貧困状態にある人は約7.8億人へ減少も、コロナで7千万人増加



2 飢餓をゼロに
栄養不良の人の数7.7億人から8.2億人に増加、5歳未満の発育不良児は1.4億人



6 安全な水とトイレを世界中に
安全な飲料水を利用できない人22億人、9億人が野外排泄



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
電力を利用できない人7.9億人
再生可能エネルギーの割合は世界平均17%



13 気候変動に具体的な対策を
自然災害に起因する経済的損失は3000億ドルを超える。地球気温2100年までに3.2度上昇予測

Sustainable Development Report 2021 (2021/6 SDSN発表)

日本のSDGs達成度ランキングは
世界18位へ後退

2016年: 18位 (75点)

2017年: 11位 (80.2点)

2018年: 15位 (78.5点)

2019年: 15位 (78.9点)

2020年: 17位 (79.1点)

2021年: 18位 (79.8点)



15	生物多様性に重要な地上地区の保護された平均占有面積
15	生物多様性に重要な淡水地区の保護された平均占有面積
15	レッドリスト(絶滅の危険がある野生生物のリスト)
15	輸入に伴う地上・淡水の生物多様性への脅威(100万人あたり)



2021年～行動の10年



COP24(2018年)でのグレタさんの演説

**大事なことは、
今すぐ「行動すること」**

「気候危機を止めるためのタイムリミットは、もうすぐそこに迫っています。口だけの目標ではない気候変動対策をとってください」

→それでも経済界の動きは鈍かった

2020年、SDGsの潮目が変わった！

・コロナ禍で世界のSDGs達成指標が悪化

日本の評価は17位にダウン、ジェンダーギャップは121位/153国

・米バイデン政権のパリ協定復帰

・相次ぐゼロ・カーボン宣言とダイベストメント

化石燃料から資本が本格的に撤退、脱炭素での国内製造業(輸出)の危機
改正地球温暖化対策推進法が成立(21年5月成立、22年4月施行)

・「人権侵害」と「不平等」に関わる企業への強い非難

サプライチェーンでの企業の「加担」に対する厳しい評価

企業はいま**「行動」**が問われている。



山形県内企業のSDGs意識調査結果

帝国データバンク山形支店 7/30発表資料より

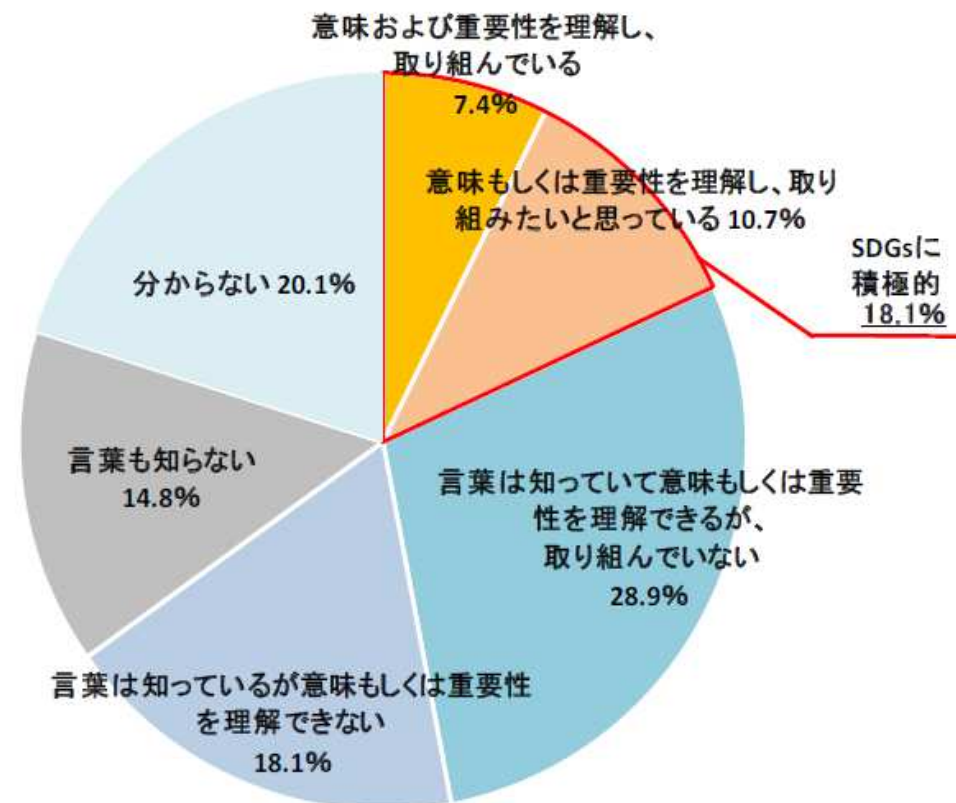
RICOH
imagine. change.

25

1. SDGs に積極的な企業は 18.1%、一方で半数近くは認知しつつも取り組んでいない

自社における SDGs への理解や取り組みについて尋ねたところ、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」企業は 7.4% となった。また、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」は 10.7% で、合計すると SDGs に積極的な企業は 18.1% と 5 社中 1 社に満たない結果になった。また、「言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない」(28.9%) が 3 割弱となり、「言葉は知っているが意味もしくは重要性を理解できない」(18.1%) を合わせると、SDGs の存在は認知しているものの取り組んでいない企業が半数近く

SDGs への理解と取り組み



注: 母数は有効回答企業149社

Think Globally, Act Locally (ローカルSDGs : 地球規模で考え、足元で行動せよ)

Think Globally

地球温暖化問題
海洋プラスチックごみ問題
発展途上国の貧困問題
世界の食糧問題
人権・人種差別・貧困問題
異文化対立問題

Think Locally

火力発電への依存
生活の中のプラスチック廃棄
大量生産・大量消費
食品の廃棄・ロス
利益主義、海外へ生産依存
異文化への理解不足

Act Locally

自分達が地域でできる事

つながり

地域課題へ投影

ESDでの生徒・学生の学び

- ・世界の問題を知る
- ・持続可能な社会の視点
- ・地域への関心
- ・地域の課題を考える
- ・地域の未来を考える
- ・実際に活動してみる

産学官＋若者の
連携が重要

台風等の自然災害の増加
土砂崩れ等災害の甚大化
里山の崩壊・耕作放棄地
人口の減少、少子高齢化
非正規雇用と貧困問題
地産地消（お金の流出）

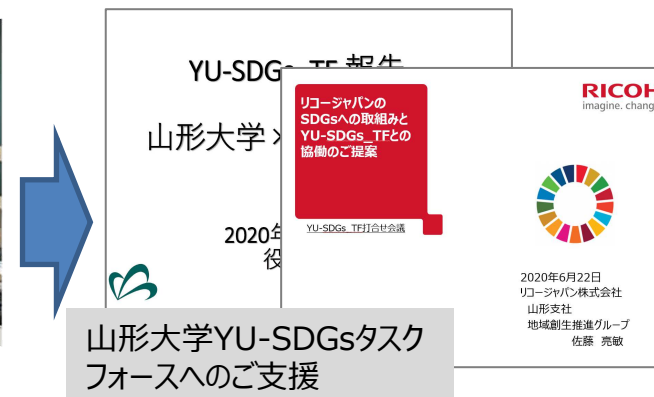
連携によるローカルSDGsの推進（山形大学様）

山形大学様との連携事例

■ 山形大学 必修「共生を考える」SDGsアドバイザー、同大学SDGsタスクフォースへ支援



山形大学「共生を考える」
SDGsアドバイザーでご支援



山形大学YU-SDGsタスク
フォースへのご支援



山形大学
YU-SDGs empower Station
パートナーとして協働開始

YU-SDGsパートナー募集		パートナー一覧	
パートナー賞 (50音順)			
企業		自治体	
 株式会社環境社	株式会社環境社	 飯豊町	
 ZAMINA	田宮印刷株式会社	 鶴岡市	
 BRAIN POWER	株式会社ブレインパワー	 山形県	
 FLOT	株式会社フロット	 山形市	
 Montedio	株式会社モンディオ山形	 米沢市	
 山形新聞	株式会社山形新聞社		
 RICOH	リコージャパン株式会社山形支社		

山形県委託業務「SDGs等環境学習会」を共同企画



連携によるローカルSDGsの推進（芸工大様）

東北芸術工科大学様との連携事例

■ 東北芸術工科大学 山縣ゼミ（SDGs） & やまがた農業女子NWとのコラボを支援



東北芸術工科大学
山縣ゼミ（SDGs）
との協働

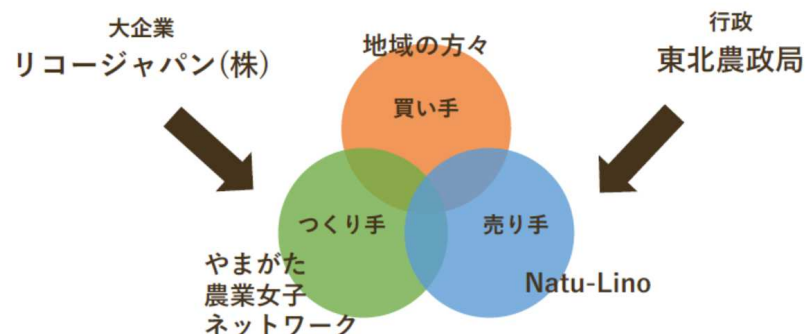


東北農政局
やまがた農業女子
ネットワークへの支援



東北芸術工科大学 企画構想学科×地域の多様なプレーヤーとのパートナーシップで「SDGs 推進ジェラート」を開発

地域の中の多様なプレーヤーと連携してローカルSDGsの推進を目指す



（写真：左から「戸沢村の雪ばなな」「月山のブルーベリー」「庄内町の庄内柿」）

東北公益文科大学様との連携事例

■ 大学院 特別講座「SDGsで考えるこれからの社会と公益」での講義



学生団体（Liga食品ロス削減チーム）がコロナ禍での生活困窮者や学生の方々に食品を提供する、フードパントリーを県内企業との連携で実施

東北公益大学の学生団体Liga食品ロス削減チーム **Liga**

フードパントリー ご協力をお願い

受付納期：2月1日（月）

＜お持ちいただきたいもの＞

穀類・乾麺	調味料各種	ギフトパック
インスタントレトルト食品	お菓子	粉ミルク
保存食品	飲料	災害備蓄品
雑物		

※日用品・生活用品もOK。
（洗剤、シャンプー、ペーパー類、紙おむつなど）

【注意事項】

- 賞味期限が明記されているもの
- 賞味期限が1か月以上あるもの
- 未開封であるもの
- 破損で中身が出ていないもの
- お米は常備の範囲内で古くないもの

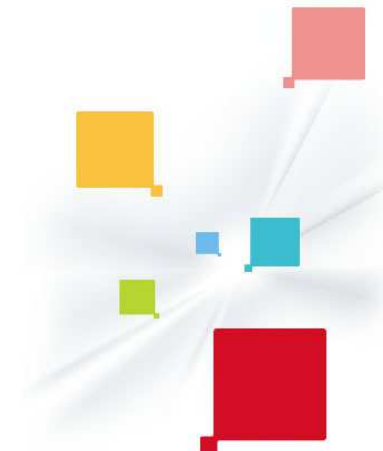
※不明な点などございましたら、野口までご連絡ください。
内線：34788



Ligaのフードパントリー向けにリコージャパン山形支社内で社員が持ち寄った食品

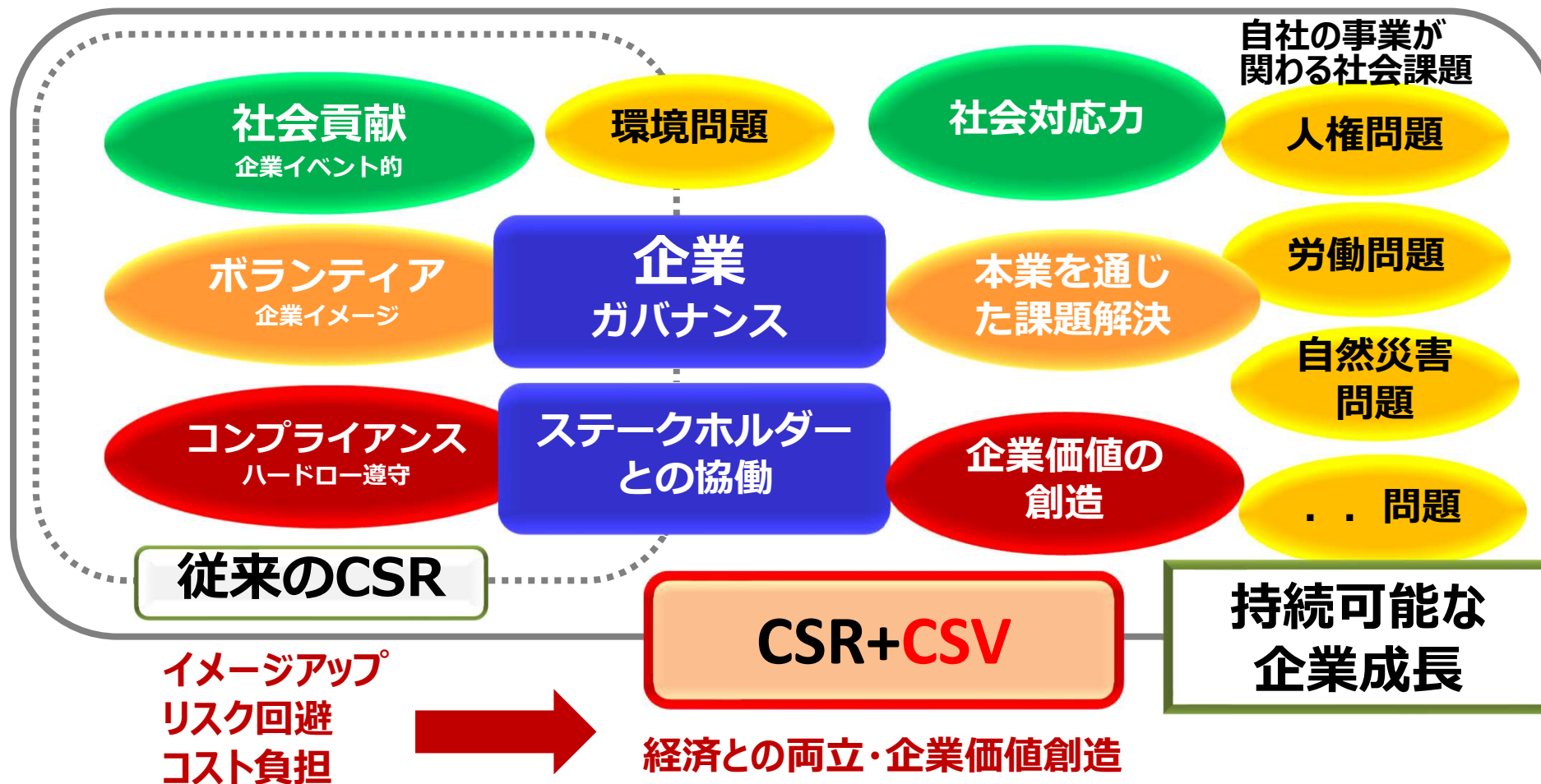


企業活動の「価値」を再定義する時代



■ 企業が取り組むべき真のCSRとは何か

企業と社会の関係性＝「企業の社会的責任（CSR）」



- ① 事業を通じたCSRの取組みで「企業価値」「新ビジネス」を創造する
- ② ステークホルダーと協働して、自ら社会課題の解決に向かう



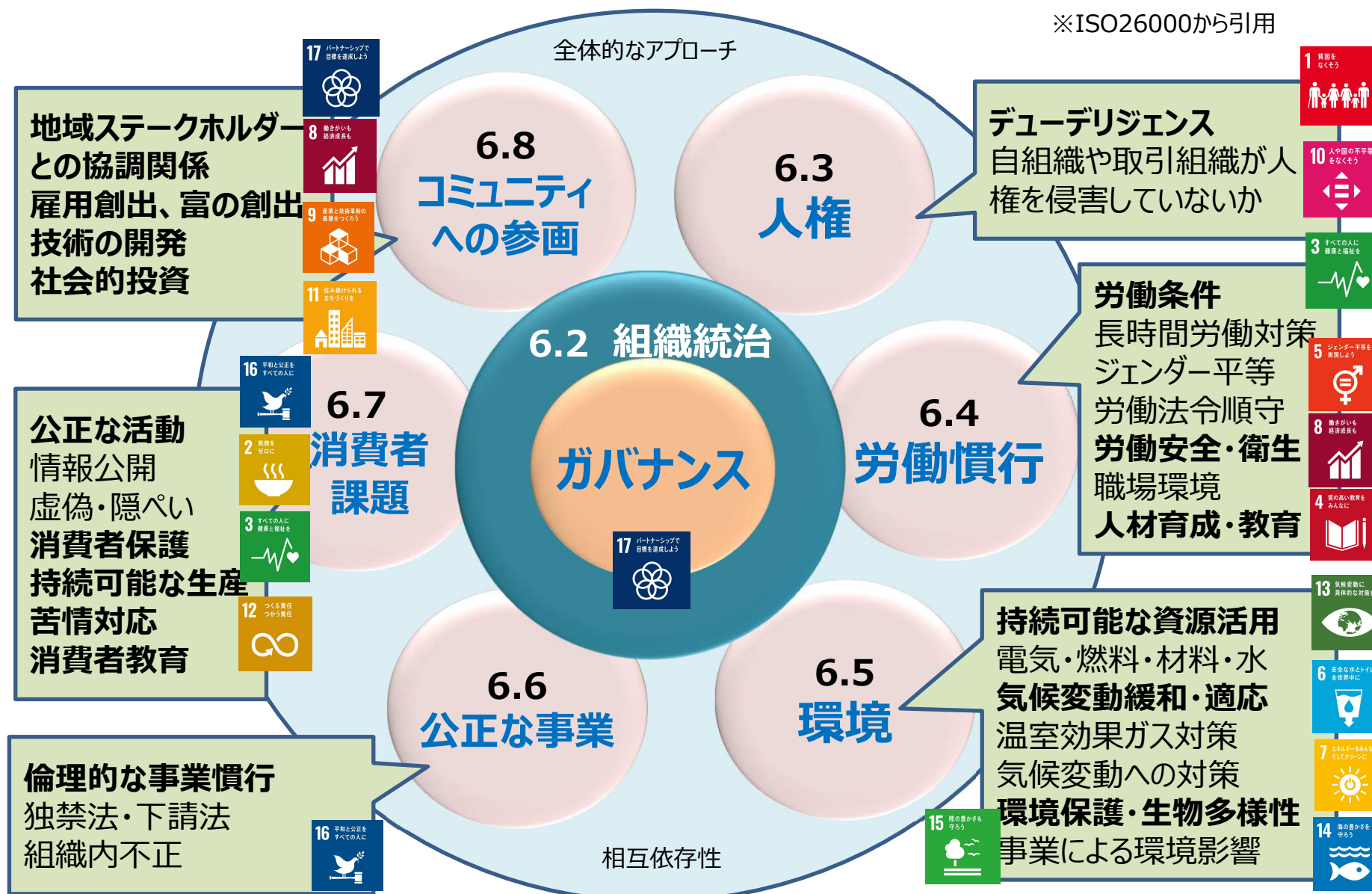
企業活動の自己評価の基準を考える

サステナブルな企業～CSR7つの中核主題（ISO26000とSDGs）

RICOH
imagine. change.

32

※ISO26000から引用



「よそ者」と「若者」が社会を変える



県外から移
住された方



起業 子育て 米沢市

黒田 三佳さん



就職 趣味 小国町

蛭原 紘子さん



就職 酒田市

内藤 大輔さん

地域おこし
協力隊の方



かみのやま地域おこし協力隊

県内各地の地域おこし協力隊

【村山地区】 寒河江市、上山市、天童市、尾花沢市、東根市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町

【庄内地区】 酒田市、三川町、庄内町、遊佐町

【最上地区】 新庄市、最上町、鮭川町、金山町、真室川町

【置賜地区】 米沢市、長井市、川西町、高畠町、小国町、白鷹町、飯豊町

【移住者の方、協力隊の方が共通に言っておられる山形の魅力】

- ・自然との一体感、水、空気、里山（ここで暮らしたい、ここで子育てしたい）
- ・伝統文化、風土（自分の手で残したい、育てたい）
- ・人、食、人と人の関係性

消費者の行動変容が企業を変える

RICOH
imagine. change.

34

価格だけでなく、その商品の持つ「意味」や「ストーリー」に共感した購買

エシカル消費（持続可能な消費）



国際フェアトレード認証

原料が生産されてから、輸出入、加工、製造、完成品となるまでの各工程で、国際フェアトレード基準に沿って持続可能な生産と公正な貿易基準が守られていることを証明するラベル。



RSPO認証

パーム油生産による熱帯林破壊や地域住民、農園労働者への人権問題を発端に、策定された認証基準。持続可能な方法で生産されたパーム油を使用する製品に貼付されるラベル。



GOTS認証

原料の収穫から環境に優しく社会的に責任のある製造を経て、消費者に信頼できる保証を与えるラベリングに到るまで、「繊維製品が正しくオーガニックである」ことを認証するラベル。



レインフォレスト・アライアンス認証

製品または原料が、持続可能性の3つの柱（社会・経済・環境）の強化に繋がる手法を用いて生産されたものであることを認証するラベル。



有機JASマーク

農薬や化学肥料などの化学物質に頼らず、自然界の力で生産された農産物、加工食品、飼料および畜産物につけられるラベル。「有機JASマーク」がない商品は「有機」、「オーガニック」を表示できません。（農水省）



FSC認証

適切な管理が行われる森林の資源で作られた製品を認証するラベル。



MSC「海のエコラベル」

水産資源と環境に配慮し、適切に管理された、持続可能な漁業で獲られた天然の水産物を示すラベル。



エコマーク

材料、生産、運搬、使用、廃棄、リサイクルにわたり環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品にのみつけられる環境ラベル。
（日本環境協会）

企業にとってリスクと機会

※SDGs.Media より引用

参考：エシカル消費に貢献する商品が増えています！

RICOH
imagine. change.

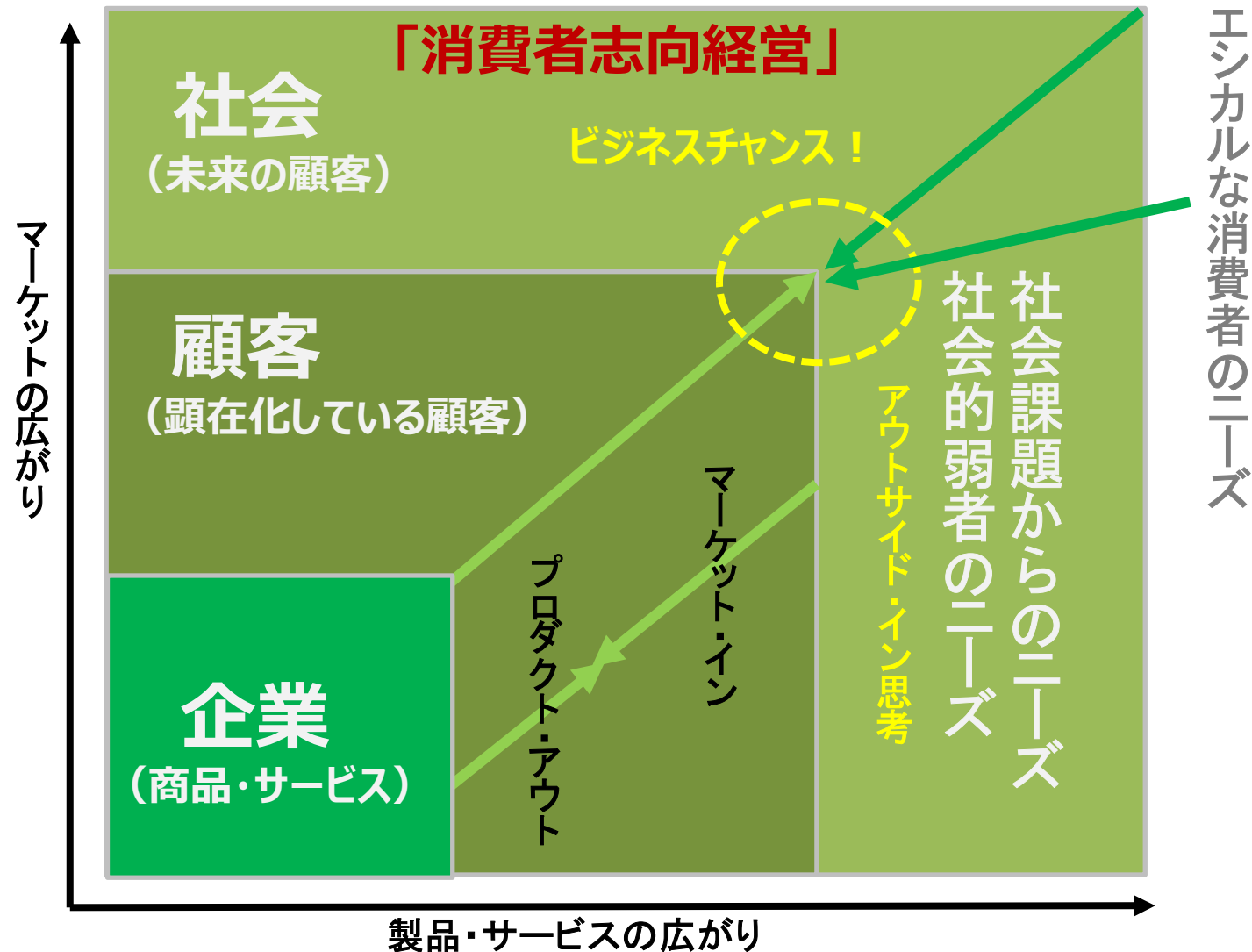
35



FSC®N002499



サステナブル（持続可能）なビジネスモデルの創出





学生の皆さんへ 『百人の一步』

人生初のコロナ禍で、**社会の価値感が大きく変化しています。**

私の自由と成長	VS	社会の秩序と共助
新しいものが欲しい	VS	長く使えるものが欲しい
安くて良いモノを買う	VS	商品の持つ意味に共感して買う
安くて品揃え良い店で買う	VS	社会に貢献する店で買う
会社人	VS	社会人

明日からSDGsへ貢献するためにどの行動を変えますか？

皆さんの行動は、**生活者**として**社会を変える力**を持っています。

皆さんの行動は、**消費者**として**企業を変える力**を持っています。

一人一人の行動、力は微力ですが**無力ではありません。**

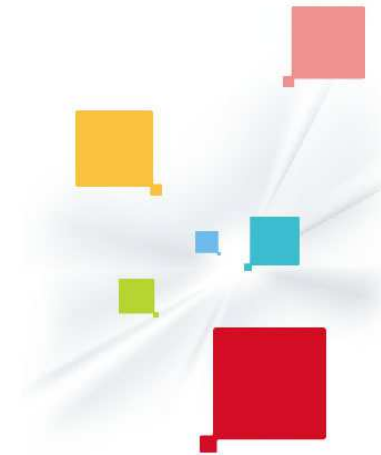
考える事も大事ですが、動く事がもっと大事です！

一人の100歩よりも、百人の一步



参考資料

私たちが取り組むSDGs ～リコージャパン社内外での取り組み事例～



RE100へのチャレンジ（国内支社）

岐阜支社 岐阜県の豊かな自然を再生可能エネルギーとして活用し
リコーが参加表明したRE100実践を目指す事業所を開所



Nearly ZEB (-75%) 取得

※2019年度以降に事業所を新築または移転、改築する場合はZEB Ready基準相当以上である事が社内ルールとなりました。



■ 太陽光パネル



太陽光発電・蓄電システム

太陽光パネル
蓄電池



RICOH Smart MES 『照明・空調制御システム』



EV普通充電スタンド・急速充電スタンド



自然光と風の活用



自然換気システム

屋内の設備



屋外の設備

お客様へのノウハウを含めて提供

※2020年末現在、ZEB Ready(-50%)以上を達成している国内事業所：岐阜支社、熊本支社、和歌山支社、兵庫支社、静岡支社

社内浸透策：SDGsキーパーソン制度

RICOH
imagine. change.

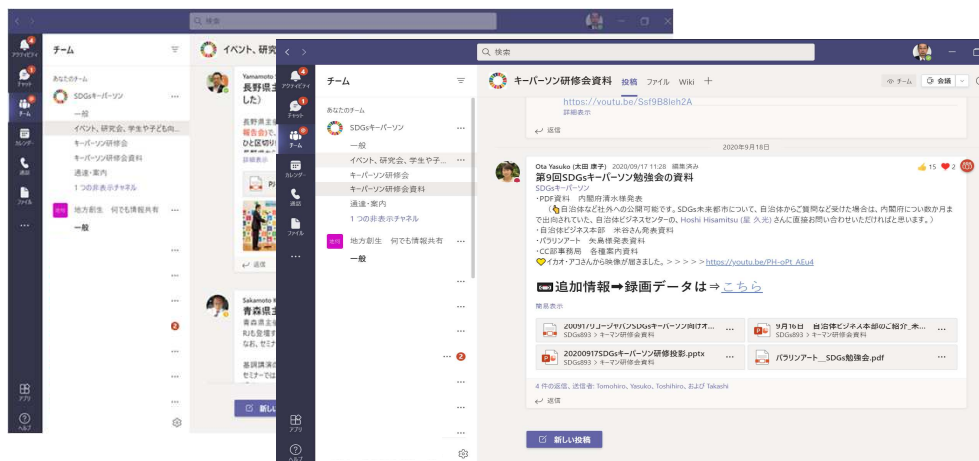
40

SDGsキーパーソン制度（105名 2021年4月時点では約**420名**）
→自社の取り組み推進とSDGsの繋がりをお客様と共に理解



定期的なキーパーソン研修会の開催

外部講師による先進事例や社内各部門の先行事例などを1日かけて研修会を実施（事例は全国の情報 Teamsで共有）



SDGsのキーパーソン育成

105名 **420名**

（2019年5月時点）

（2021年4月時点）

SDGsについての正しい知識を持って、社内外にコミュニケーションすることを目的に、全国48支社をはじめとする各部門に、SDGsキーパーソンが誕生しました。グループウェアを活用し、全国のキーパーソンが情報共有を図り、レベルアップを目指しています。



SDGs社内認知率

99.6%

（2019年1月時点）

SDGs社内浸透事例（山形支社）

『社内勉強会 座学&ワークショップ、ゲーム体験で自分事化』

支社キーパーソンをファシリテーターとした

■ SDGs勉強会（座学）の開催



■ ワorkshop・ゲームの開催



「SDGs ババ抜き」を通して
17のゴールを理解する



My SDGs 宣言

私は、ゴール **8,17** を実現するために
ViCreA山形を通して常に新しい
働き方改革を実践し、社員満足度
の向上とお客様への事例紹介及び
働き方改革のご支援 **を実践します。**

事業戦略G 野口 恵美

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「カードゲームX（クロス）」を通して、SDGs
のトレードオフを知り、パートナーシップの重要
性を体感する

ワークショップの後に『**My SDGs 宣言**』を作成し、自分事として何ができる
かを考え、すぐに行動する事をロッカーに貼りつけて日々意識しています。

SDGs社内浸透事例（山形支社）

ライブオフィスを通じて実践事例を社員、お客様、地域と共有

ViCreA山形
Value innovation Creative Area



ノベルティをフェアトレード品に



ゴミゼロ（ゼロ・エミッション）の継続
省エネオフィスの運営

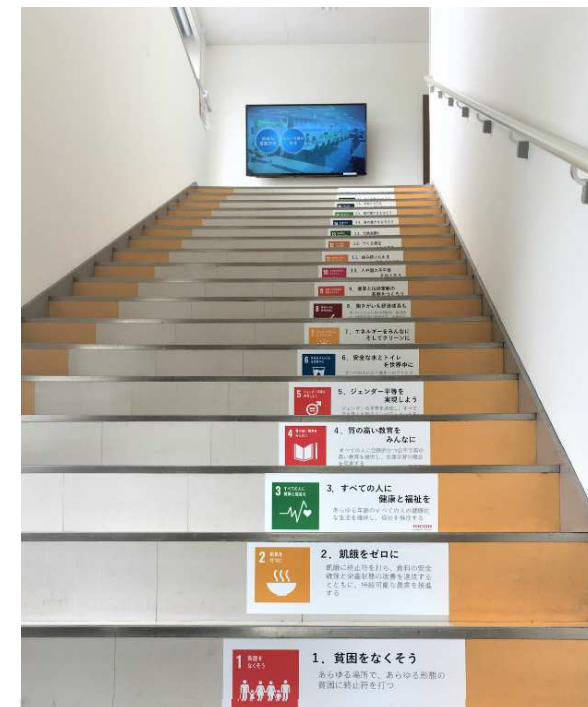


ライブ＆バーチャル・オフィスツアー

ペーパーレスオフィス
働き方改革の実践



文房具の共有（リデュース）
リユース・リサイクル・リフューズ



社内掲示・啓蒙

SDGsに貢献するの具体的な活動の推進

食品ロスを減らしていくための活動 『フードドライブ & 3010運動の実践』



フードドライブとは・・・

家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめてフードバンクに寄付する活動です。



宴会における大量の食品ロスが問題になっています。
私たちは、宴会の最初の30分と最後の10分は着席し、食事をするようにしています。



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



12 つくる責任 つかう責任



大事なことはゴールとの紐づけではなく、行動の目的を変える事



SDGsに貢献するの具体的な活動の推進

山形県内各地での生態系保全活動

2019年7月7日（日） 米沢市最上川河川敷 『河川敷清掃活動』



2018年9月1日（土） 由良海岸 『ゴミ拾いはスポーツだ I N庄内』



2018年10月13日（土） 山形市みはらしの丘 『下刈り作業による散策路の整備』



今年は、お客様の
参加数をKPIに
設定しました

大事なことはゴールとの紐づけではなく、行動の目的を変える事

産学官連携プロジェクト（山形県・山形大学）

RICOH
imagine. change.

45

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

RICOH
リコージャパン株式会社

山形大学
Yamagata University

山形県委託事業

令和2年度 若者向けSDGs等環境学習会

この学習会は、J-クレジット制度を活用した「山形県民CO2削減価値創出事業」による収益還元事業として、山形県の委託により、県内の高等学校、専門学校、短期大学、大学及び大学院の生徒、学生、教員を対象に実施するものです。

企画運営 リコージャパン株式会社 山形支社
共同企画 国立大学法人 山形大学



【担当講師と学習内容】

OSDGs（環境分野）

①講師：山形大学 理学部 理学科 教授 栗山恭直氏

学習内容：クリーンエネルギーやプラスチックのリサイクルに関する演示実験をしながらSDGsの視点で環境問題とその解決策に対する科学的なアプローチを学ぶ。
また、山形大学の学生とのオンライン・ワークショップを通して理解促進を図る。

②講師：東北芸術工科大学 企画構想学科 准教授 山縣弘忠氏

学習内容：グローバルな課題と相互に影響する地域の課題を理解し、クリエイティブな視点でローカルSDGsの実現を学ぶとともに、全国各地で活躍するSDGsアクターをオンライン・オフラインで招待し「自分ごと化」を促進する。

③講師：東北公益文科大学 公益学科 准教授 倉持 一氏

学習内容：外部組織との協働重視へという企業の経営戦略の最新の変化を踏まえた上で、環境問題等の社会課題解決に向けた企業のCSR活動にも若者との協働によるイノベーションが必要であることを学ぶ。

④講師：佐藤朋子氏（東北芸工大2019年卒、SDGs for School認定エデュケーター）

学習内容：山形にある身近な行動が地域にひいては世界に影響を与えている事や、SDGs達成の為に他者と協働が必要であることをゲームフィケーションによって体感的に習得する。

OSDGs（環境分野）、○地球温暖化、○気候変動適応

⑤講師：東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 教授 三浦秀一氏

学習内容：気候変動と再生可能エネルギーからSDGsのゴールの関連性を見つけ出し、グローバルとローカルな動きが繋がっていることを理解しながら、山形県には課題があるとともに解決のための可能性に満ちていることを理解する。

第6回 山形県立荒砥高等学校 11月19日（木）

- ・講師：SDGs for School認定エデュケーター 佐藤朋子氏
- ・学習内容：山形版SDGsシミュレーション・カードゲームを通じて、山形における地域の課題を理解し、自分達の行動（選択）がどのように地域の経済、社会、環境へ影響するのかを体感的に学ぶ。



第7回 山形県立高島高等学校 11月26日（木）

- ・講師：山形大学 理学部 理学科教授 栗山恭直氏
- ・学習内容：プラスチックのリサイクルに関する実験をしながらSDGsの視点で環境問題とその解決策に対する科学的なアプローチを学ぶ。（今回は生徒達が実験で体験する進め方で開催）



第8回 山形大学 農学部（小沢研究室） 12月1日（火）

- ・講師：東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 教授 三浦秀一氏
- ・気候変動と再生可能エネルギーからSDGsのゴールの関連性を見つけ出し、グローバルな課題とローカルな動きが繋がっていることを山形県内の事例を学びながら理解し、山形県における課題解決のための可能性を考える。



県内各団体との連携（県内団体、マスコミ）



46



JCI山形ブロック大会
でのSDGsセミナー



山形県環境審議会
での事例発表



大学コンソーシアム
やまがた夜話での講話



YTS 提言の広場（経済同友会）
への出演（テーマ：SDGs）



テレビユー山形
海と日本プロジェクト
トークセッションでの登壇



県内各団体との連携（NPO）SDGs地域コミュニティ発足

RICOH
imagine. change.

47

■SDGsを市民レベルで普及するためのコミュニティを企画支援



令和2年度 山形市市民活動支援センター企画講座

SDGs ミーティング

@山形市市民活動支援センター

ゲストトークを通じて、SDGsへの理解を深めます。

ゲストトーク

「SDGsと科学」
県内でもいち早くSDGsに着目し、大学コンソーシアムやまがたでは市民向けの連続講座を企画。そして、産学官連携のSDGs推進プラットフォームでは中心的な役割におられる栗山氏。今回は専門である「科学」の観点からSDGsについてお聞きします。

山形大学 理学部
教授 栗山 恭直 氏

「SDGsと働き方」
事業を通じた社会課題の解決に取り組みつつ、社内においてもSDGsの浸透を図っているリコージャパン。今回は社員のみならず日頃から実践している「働き方」とSDGsの関わりをお聞きします。

リコージャパン株式会社
山形支社

開催日時 10月21日(水) 18時～20時
申込受付期間 10/1(木)～10/17(土)

会場：山形市市民活動支援センター 高度情報会議室
参加費：無料 定員：20名※先着順

※駐車場は霞城セントラル駐車場か、山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。
2時間分までの駐車券の補助があります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用と施設入口に設置のアルコール消毒液での手指消毒をお願いします。

申込み・お問い合わせ (要申込・申込用紙はチラシ裏面をご利用ください)
山形市市民活動支援センター 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル22階
電話：023-647-2260 Eメール：center@yamagata-npo.jp
FAX：023-647-2261 Webサイト：https://www.yamagata-npo.jp/

主催：山形市市民活動支援センター 後援：リコージャパン株式会社山形支社

令和2年度 山形市市民活動支援センター企画講座

SDGs ミーティング

@山形市市民活動支援センター

ワークショップを通して、SDGsへの理解を深めます

ワークショップ

**「豊かな社会」ってどんな社会？
～SDGsの視点から考える～**

認定NPO
1991年に発足し、へのサポートや、国際し、私たち一人ひとりの役割の模索をいっカードを使い、様々な課題を模索しています。

開催日時 11月
申込受付期間 11月
会場：山形市市民活動支援センター
参加費：無料 定員：20名※先着順

※駐車場は霞城セントラル駐車場か、山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。
2時間分までの駐車券の補助があります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用と施設入口に設置のアルコール消毒液での手指消毒をお願いします。

申込み・お問い合わせ (要申込・申込用紙はチラシ裏面をご利用ください)
山形市市民活動支援センター 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル22階
電話：023-647-2260 Eメール：center@yamagata-npo.jp
FAX：023-647-2261 Webサイト：https://www.yamagata-npo.jp/

主催：山形市市民活動支援センター 後援：リコージャパン株式会社山形支社

令和2年度 山形市市民活動支援センター企画講座

SDGs ミーティング

@山形市市民活動支援センター

カードゲームを通して、SDGsへの理解を深めます

カードゲーム

山形版SDGs
SDGs for School
社会人入試で東北福祉大と大がなから、小学生の子ども達にSDGsを伝えるという目的で、在学中の子ども達を対象としたカードゲームを開発しています。

開催日時 12月1日
申込受付期間 11月
会場：山形市市民活動支援センター
参加費：無料 定員：20名※先着順

※駐車場は霞城セントラル駐車場か、山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。
2時間分までの駐車券の補助があります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用と施設入口に設置のアルコール消毒液での手指消毒をお願いします。

申込み・お問い合わせ (要申込・申込用紙はチラシ裏面をご利用ください)
山形市市民活動支援センター 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル22階
電話：023-647-2260 Eメール：center@yamagata-npo.jp
FAX：023-647-2261 Webサイト：https://www.yamagata-npo.jp/

主催：山形市市民活動支援センター 後援：リコージャパン株式会社山形支社

令和2年度 山形市市民活動支援センター企画講座

SDGs ミーティング

@山形市市民活動支援センター

ゲストトークを通して、SDGsへの理解を深めます

ゲストトーク

**アイスクリームを通して考える
～生活・暮らし・仕事の中で実践するSDGs～**

東北芸術工科大学 企画構想学科 山縣弘忠 氏

「企業を通じて社会課題を解決しよう」という思いで活動的に取り組んでいる、山縣氏の学生生活、3年間の活動の振り返りと山形市市民活動支援センターとの関わりをお聞きします。

開催日時 1月20日(水) 18時～20時
申込受付期間 12/16(水)～1/17(日)

会場：山形市市民活動支援センター 高度情報会議室
参加費：無料 定員：16名※先着順

※駐車場は霞城セントラル駐車場か、山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。
2時間分までの駐車券の補助があります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用と施設入口に設置のアルコール消毒液での手指消毒をお願いします。

申込み・お問い合わせ (要申込・申込用紙はチラシ裏面をご利用ください)
山形市市民活動支援センター 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル22階
電話：023-647-2260 Eメール：center@yamagata-npo.jp
FAX：023-647-2261 Webサイト：https://www.yamagata-npo.jp/

主催：山形市市民活動支援センター 後援：リコージャパン株式会社山形支社 東北芸術工科大学

毎月第3水曜日夜方に山形霞城セントラル23F（山形市市民活動支援センター）で定期的開催、参加者は学生、先生、公務員、会社員、個人と多彩



成果：山形支社 官民連携での成果



RICOH
imagine. change.

49

令和2年度 山形県環境保全推進賞

第22回山形県環境保全推進賞 『山形県知事賞』を受賞いたしました。



山形県知事賞

山形市
リコージャパン株式会社山形支社

「環境経営の継続とSDGs経営普及の実践」

2001年に環境ISOを認証取得し、これまで「ペーパーレス化」「ゼロ・エミッション」「セキュリティ・オフィス」「経営体質強化(CRGP)」「5Sの再徹底」「CSR報告書の再教育」「働き方改革」「全社員で取り組むSDGs」などに取組んでまいりました。リコーグループの「SDGsに貢献しない事業は淘汰される」という認識の下、事業を通じた社会課題の解決に貢献する活動として「VicareA山形」を開設し、オフィス見学などにより、これまで蓄積してきたノウハウや課題解決のヒントをお客様に提供しております。



■ 受賞のポイント

① 環境経営の継続

ゼロ・エミッション活動の継続

② SDGs経営の実践

事業を通じた社会課題解決への貢献

③ ViCreA山形での情報発信

自社の経験・知見をステークホルダーと共有

成果：リコーグループ 日経SDGs経営大賞を受賞

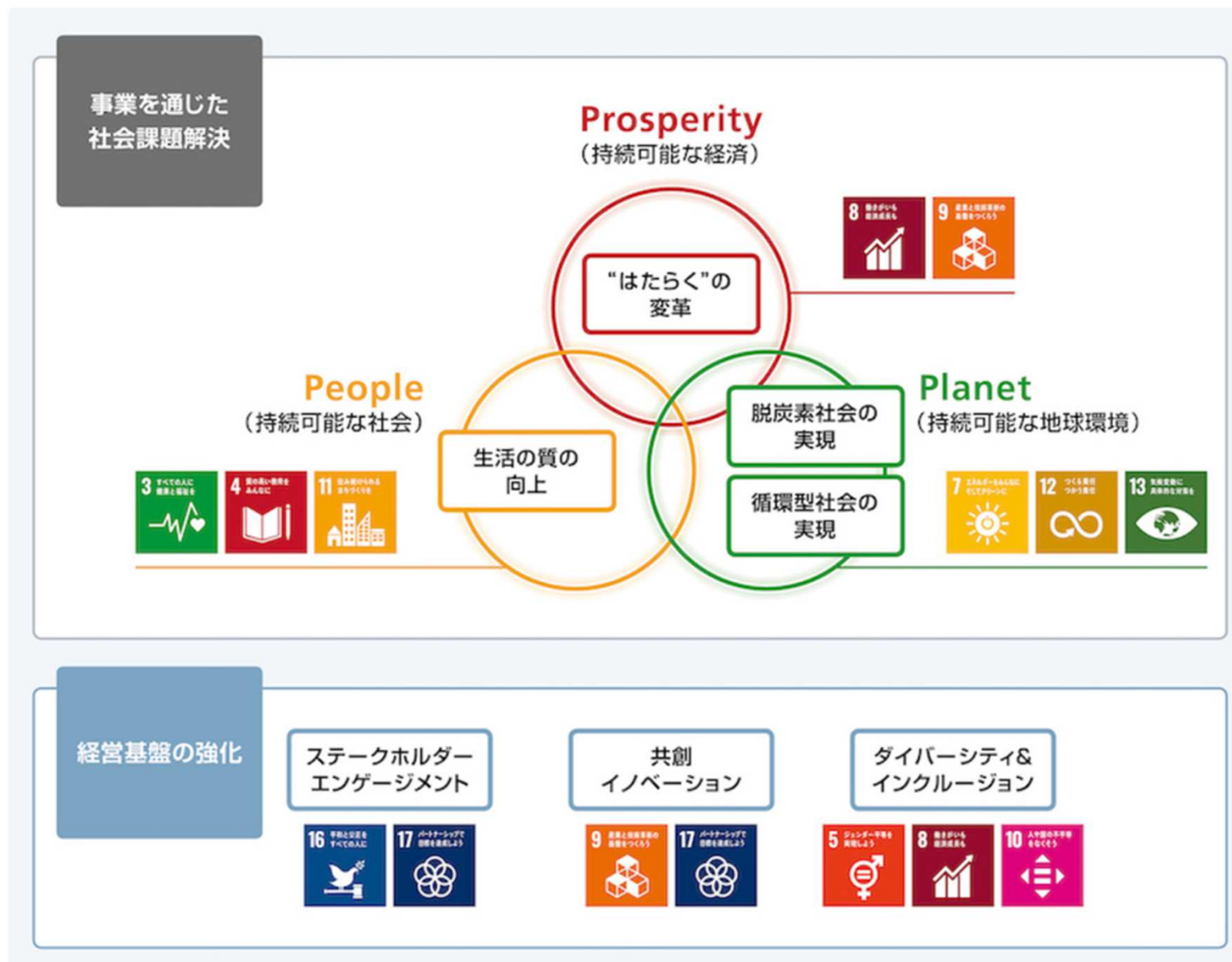
- ✓ **第2回 日経SDGs経営大賞」において、リコーが「大賞」を受賞しました。(2020/11/25)**
- ✓ 表彰式では、伊藤邦雄審査委員長から、「リコーはすべての項目で非常に高い点数を獲得しており、各要素が高いレベルで連鎖している。環境経営のトップランナーとしてこれまでも地歩を築いてきたが、今回の受賞はそれをSDGsとして大きく結晶化させたもの」とお褒め頂いた上で、「受賞4社は、本業とは別の活動としてSDGs活動をするのではなく、まさに本業の一環で、本業を進化させながらSDGsのための活動を進めている」とご講評をいただきました。



参考：リコーグループのマテリアリティ（重要課題）

RICOH
imagine. change.

51





参考：リコーグループの重要社会課題とESG目標



52

	マテリアリティ	2030年 目標	社会課題解決と事業戦略	ESG目標	
				評価指標	目標値
事業を通じた社会課題解決	“はたらく”の 変革  	価値を提供するすべての顧客の“はたらく”の変革に貢献	<u>社会課題</u> 持続的な発展のために、企業では、働き方変革やIT化による生産性向上、社員のはたらきがいの向上が課題となっています。 <u>事業戦略</u> デジタル技術・サービスの提供で、お客様の“はたらく”の変革を実現します。 <u>主な事業領域</u> OP/OS事業	顧客調査での評価スコア	トップスコア率 30%
				顧客への提供価値拡充度	
	生活の質の 向上   	3,000万人の生活基盤の向上に貢献	<u>社会課題</u> 先進国と途上国、都市と地方では、医療・教育・地域サービスの格差の解消が必要となっています。 <u>事業戦略</u> オフィスソリューションで培ってきたデジタル技術とノウハウを活かして、医療・教育・地域サービスの質の向上を支援します。 <u>主な事業領域</u> ヘルスケア・スマート社会インフラ	生活基盤向上貢献人数	1000万人
	脱炭素社会の 実現  	GHGスコープ1,2の63%削減及びスコープ3の20%削減	<u>社会課題</u> 気候変動の影響が顕著になっており、対策の強化とスピードアップが課題です。 <u>事業戦略</u> 「SBT1.5°C認定」目標を掲げ、自社排出のGHGの大幅削減を進め、社会全体の脱炭素に貢献する商品・ソリューションを提供します。 <u>主な事業領域</u> OP/OS事業 環境・エネルギー	GHGスコープ1,2削減率	30% (2015年比)
				GHGスコープ3削減率	10% (2015年比)
	循環型社会の 実現 	バリューチェーン全体の資源有効活用と製品省資源化率50%	<u>社会課題</u> 天然資源の持続的な利用を可能にするために、資源の循環利用や新規投入資源の削減の強化が課題です。 <u>事業戦略</u> 3R・プラスチック削減/代替をさらに強化し、プリント・オンデマンドの提供により、お客様の資源の効率利用に貢献します。 <u>主な事業領域</u> OP/OS事業 商用印刷/産業印刷 サーマル	製品の省資源化率	30%

RICOH
imagine. change.